(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)公開番号
特開2024-111774
(P2024-111774A)
(43)公開日　令和6年8月19日(2024.8.19)

(51)国際特許分類　FI
A63F 9/30 (2006.01)　A63F 9/30 502C

審査請求　有　請求項の数　7　OL　（全27頁）

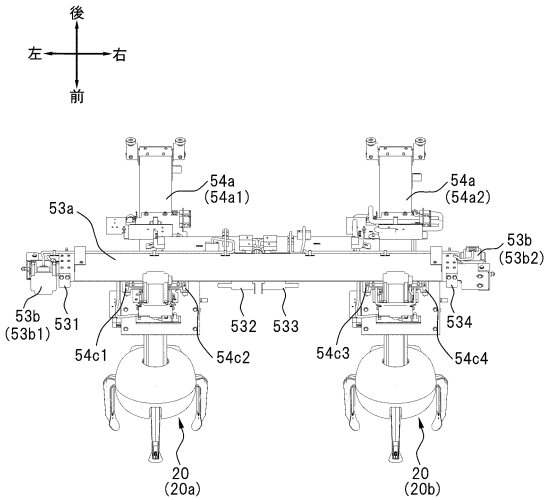
(21)出願番号　特願2023-16481(P2023-16481)
(22)出願日　令和5年2月6日(2023.2.6)

(71)出願人　000132471
株式会社セガ
東京都品川区西品川一丁目１番１号住友不動産大崎ガーデンタワー
(74)代理人　100156605
弁理士　山田 彰彦
(72)発明者　瀧川 里穂
東京都品川区西品川一丁目１番１号 住友不動産大崎ガーデンタワー 株式会社セガ内
(72)発明者　深澤 光晴
東京都品川区西品川一丁目１番１号 住友不動産大崎ガーデンタワー 株式会社セガ内
(72)発明者　御所園 空也

最終頁に続く

(54)【発明の名称】　景品取得ゲーム装置

(57)【要約】　（修正有）
【課題】第１プレイエリア及び第２プレイエリアの大きさを変更可能にする。
【解決手段】景品を収容する収納空間内で左右に隣り合う左側の第１プレイエリア及び右側の第２プレイエリアに跨って左右方向に延在する固定レールと、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第１移動レールと、前記第１移動レールに支持された第１景品取得部と、第１プレイエリアの右端位置を検知する第１センサーと、前記第１センサーを作動させる第１作動部と、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第２移動レールと、前記第２移動レールに支持された第２景品取得部と、第２プレイエリアの左端位置を検知する第２センサーと、前記第２センサーを作動させる第２作動部を備え、第１プレイエリアの右端位置を変更可能にし、第２プレイエリアの左端位置を変更可能にする。
【選択図】図６



【特許請求の範囲】
【請求項１】
景品を収容する収納空間内で左右に隣り合う左側の第１プレイエリア及び右側の第２プレイエリアに跨って左右方向に延在する固定レールと、
前記第１プレイエリアにおいて、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第１移動レールと、
前後方向に沿って移動自在に前記第１移動レールに支持された第１景品取得部と、
前記第１移動レールに取付けられ、第１プレイエリアの右端位置を検知する第１センサーと、
前記第１センサーを作動させる第１作動部であって、左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第１作動部と、
前記第２プレイエリアにおいて、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第２移動レールと、
前後方向に沿って移動自在に前記第２移動レールに支持された第２景品取得部と、
前記第２移動レールに取付けられ、第２プレイエリアの左端位置を検知する第２センサーと、
前記第２センサーを作動させる第２作動部であって、左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第２作動部と、
を備え、
前記固定レールは、前記第１移動レールと前記第２作動部との間での移動後の位置において前記第１作動部を支持することにより、第１プレイエリアの右端位置を変更可能にし、前記第１作動部と前記第２移動レールとの間での移動後の位置において前記第２作動部を支持することにより、第２プレイエリアの左端位置を変更可能にする、
ことを特徴とする景品取得ゲーム装置。
【請求項２】
前記第１移動レールの左右方向に沿う移動によって第１作動部が第１センサーを作動させた場合に、前記第１移動レールを第１プレイエリアの右端位置で停止させ、前記第２移動レールの左右方向に沿う移動によって第２作動部が第２センサーを作動させた場合に、前記第２移動レールを第２プレイエリアの左端位置で停止させる制御部と、
を備えたことを特徴とする請求項１に記載の景品取得ゲーム装置。
【請求項３】
前記固定レールは、第１プレイエリアの右端位置から第２プレイエリアの左端位置まで間隔を開けるように第１作動部及び第２作動部を支持することにより、第１プレイエリアと第２プレイエリアとの間に非プレイエリアを形成可能にする、
ことを特徴とする請求項１又は２に記載の景品取得ゲーム装置。
【請求項４】
前記固定レールは、前記第１作動部及び前記第２作動部を左右方向に沿ってスライド移動可能に支持し、
前記第１作動部及び前記第２作動部は、スライド移動後の位置において磁石によって前記固定レールに位置決めされる、
ことを特徴とする請求項１又は２に記載の景品取得ゲーム装置。
【請求項５】
景品を収容する収納空間内で左右に隣り合う左側の第１プレイエリア及び右側の第２プレイエリアに跨って左右方向に延在する固定レールと、
前記第１プレイエリアにおいて、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第１移動レールと、
前後方向に沿って移動自在に前記第１移動レールに支持された第１景品取得部と、
前記第２プレイエリアにおいて、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第２移動レールと、
前後方向に沿って移動自在に前記第２移動レールに支持された第２景品取得部と、

前記第１移動レールに取付けられ、第１プレイエリアと第２プレイエリアの境界位置を検知する第１センサーと、
前記第２移動レールに取付けられ、第１プレイエリアと第２プレイエリアの境界位置を検知する第２センサーと、
前記第１センサー及び前記第２センサーを作動させる作動部であって、左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された作動部と、
を備え、
前記固定レールは、前記第１移動レールと前記第２移動レールとの間での移動後の位置において前記作動部を支持することにより、第１プレイエリアと第２プレイエリアの境界位置を変更可能にする、
ことを特徴とする景品取得ゲーム装置。
【請求項６】
前記第１移動レールの左右方向に沿う移動によって作動部が第１センサーを作動させた場合に、前記第１移動レールを第１プレイエリアと第２プレイエリアの境界位置で停止させ、前記第２移動レールの左右方向に沿う移動によって作動部が第２センサーを作動させた場合に、前記第２移動レールを第１プレイエリアと第２プレイエリアの境界位置で停止させる制御部と、
を備えたことを特徴とする請求項５に記載の景品取得ゲーム装置。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、景品取得ゲーム装置に関する。
【背景技術】
【０００２】
景品を収容する収容空間内で前記景品を取得する景品取得部を移動させて遊戯者にゲームプレイさせる景品取得ゲーム装置が知られている（たとえば、特許文献１）。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００３】
【特許文献１】特開２０１９－９８０７６号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
特許文献１に記載の景品取得ゲーム装置は、遊戯者が景品取得ゲームをプレイする第１プレイエリアを収容空間内の左側に形成し、収容空間内の右側に第２プレイエリアを形成している。第１プレイエリアと第２プレイエリアでは、それぞれに対応させて第１景品取得部と第２景品取得部が移動可能となっている。第１プレイエリアと第２プレイエリアは、同じ大きさであるため、第１景品取得部と第２景品取得部の収容空間内での可動範囲も同じ大きさになっている。第１プレイエリアと第２プレイエリアの大きさは変更することができない構造になっているため、第１景品取得部と第２景品取得部の収容空間内での可動範囲の大きさも変更できない。その一方で、サービス提供者（例えば、店員等）は、収容空間内で景品の種類やサイズ等に合わせて多様なゲームプレイができるように、左右で異なる大きさのプレイエリアに変更したい場合があった。
【０００５】
本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、第１プレイエリア及び第２プレイエリアの大きさを変更可能にすることにある。
【課題を解決するための手段】
【０００６】
上記課題を解決するための本発明の主たる発明は、
景品を収容する収納空間内で左右に隣り合う左側の第１プレイエリア及び右側の第２プ

レイエリアに跨って左右方向に延在する固定レールと、
前記第１プレイエリアにおいて、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第１移動レールと、
前後方向に沿って移動自在に前記第１移動レールに支持された第１景品取得部と、
前記第１移動レールに取付けられ、第１プレイエリアの右端位置を検知する第１センサーと、
前記第１センサーを作動させる第１作動部であって、左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第１作動部と、
前記第２プレイエリアにおいて、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第２移動レールと、
前後方向に沿って移動自在に前記第２移動レールに支持された第２景品取得部と、
前記第２移動レールに取付けられ、第２プレイエリアの左端位置を検知する第２センサーと、
前記第２センサーを作動させる第２作動部であって、左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第２作動部と、
を備え、
前記固定レールは、前記第１移動レールと前記第２作動部との間での移動後の位置において前記第１作動部を支持することにより、第１プレイエリアの右端位置を変更可能にし、前記第１作動部と前記第２移動レールとの間での移動後の位置において前記第２作動部を支持することにより、第２プレイエリアの左端位置を変更可能にする、
ことを特徴とする景品取得ゲーム装置である。
本発明の他の特徴については、本明細書及び添付図面の記載により明らかにする。

【図面の簡単な説明】

【０００７】
【図１】本実施形態に係る景品取得ゲーム装置１の構成を示す外観図である。
【図２】本実施形態に係る景品取得ゲーム装置１の構成を示す概略斜視図である。
【図３】本実施形態に係る景品取得ゲーム装置１の構成を示すブロック図である。
【図４】本実施形態に係る景品取得部２０の構成を示す概略図である。
【図５】本実施形態に係る移動部５０の構成を示す概略斜視図である。
【図６】本実施形態に係る移動部５０の構成を示す平面側斜視図である。
【図７】本実施形態に係る移動部５０の構成を示す右面側斜視図である。
【図８】本実施形態に係る第１右端作動部５３２の構成を示す概略斜視図である。
【図９】本実施形態に係る第２左端作動部５３３の構成を示す概略斜視図である。
【図１０】第１右端作動部５３２と第２左端作動部５３３を右側へ移動させた状態を示す図である。
【図１１】第１右端作動部５３２を左側へ移動させ第２左端作動部５３３を右側へ移動させた状態を示す図である。
【図１２】プレイエリアの設定について説明する図である。図１２Ａは、第１プレイエリアＰＡ１と第２プレイエリアＰＡ２を同じ大きさに設定した状態を示す図である。図１２Ｂは、第１プレイエリアＰＡ１よりも小さい第２プレイエリアＰＡ２を設定した状態を示す図である。図１２Ｃは、第１プレイエリアＰＡ１と第２プレイエリアＰＡ２との間に展示エリアＤＡを設定した状態を示す図である。
【図１３】本実施形態に係る景品取得ゲーム装置１の動作例を説明するフローチャートである。
【図１４】本実施形態に係る作動部５３５の構成を示す概略斜視図である。

【発明を実施するための形態】

【０００８】
本明細書及び添付図面の記載により、少なくとも以下の事項が明らかとなる。
即ち、景品を収容する収納空間内で左右に隣り合う左側の第１プレイエリア及び右側の第２プレイエリアに跨って左右方向に延在する固定レールと、

前記第１プレイエリアにおいて、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第１移動レールと、
前後方向に沿って移動自在に前記第１移動レールに支持された第１景品取得部と、
前記第１移動レールに取付けられ、第１プレイエリアの右端位置を検知する第１センサーと、
前記第１センサーを作動させる第１作動部であって、左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第１作動部と、
前記第２プレイエリアにおいて、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第２移動レールと、
前後方向に沿って移動自在に前記第２移動レールに支持された第２景品取得部と、
前記第２移動レールに取付けられ、第２プレイエリアの左端位置を検知する第２センサーと、
前記第２センサーを作動させる第２作動部であって、左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第２作動部と、
を備え、
前記固定レールは、前記第１移動レールと前記第２作動部との間での移動後の位置において前記第１作動部を支持することにより、第１プレイエリアの右端位置を変更可能にし、前記第１作動部と前記第２移動レールとの間での移動後の位置において前記第２作動部を支持することにより、第２プレイエリアの左端位置を変更可能にする、
ことを特徴とする景品取得ゲーム装置である。
このような景品取得ゲーム装置によれば、サービス提供者（例えば、店員等）は、固定レールに沿って第１作動部及び第２作動部ぞれぞれの左右方向の位置を調整することで、第１プレイエリア及び第２プレイエリアの大きさを個別に変更にすることが可能となる。

【０００９】

また、かかる景品取得ゲーム装置であって、
前記第１移動レールの左右方向に沿う移動によって第１作動部が第１センサーを作動させた場合に、前記第１移動レールを第１プレイエリアの右端位置で停止させ、前記第２移動レールの左右方向に沿う移動によって第２作動部が第２センサーを作動させた場合に、前記第２移動レールを第２プレイエリアの左端位置で停止させる制御部を備えることとしても良い。
このような景品取得ゲーム装置によれば、第１プレイエリアに対応させて第１景品取得部の可動範囲を制限できると共に、第２プレイエリアに対応させて第２景品取得部の可動範囲を制限することができる。

【００１０】

また、かかる景品取得ゲーム装置であって、
前記固定レールは、第１プレイエリアの右端位置から第２プレイエリアの左端位置まで間隔を開けるように第１作動部及び第２作動部を支持することにより、第１プレイエリアと第２プレイエリアとの間に非プレイエリアを形成可能にすることとしても良い。
このような景品取得ゲーム装置によれば、サービス提供者は、第１作動部と第２作動部の左右方向の間隔を調整することで、収納空間内にプレイエリアだけでなく、非プレイエリアも形成できるようになる。

【００１１】

また、かかる景品取得ゲーム装置であって、
前記固定レールは、前記第１作動部及び前記第２作動部を左右方向に沿ってスライド移動可能に支持し、
前記第１作動部及び前記第２作動部は、スライド移動後の位置において磁石によって前記固定レールに位置決めされることとしても良い。
このような景品取得ゲーム装置によれば、サービス提供者は、簡単な操作で、第１作動部及び第２作動部ぞれぞれの左右方向の位置を決めることができる。

【００１２】

また、景品を収容する収納空間内で左右に隣り合う左側の第１プレイエリア及び右側の第２プレイエリアに跨って左右方向に延在する固定レールと、
前記第１プレイエリアにおいて、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第１移動レールと、
前後方向に沿って移動自在に前記第１移動レールに支持された第１景品取得部と、
前記第２プレイエリアにおいて、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第２移動レールと、
前後方向に沿って移動自在に前記第２移動レールに支持された第２景品取得部と、
前記第１移動レールに取付けられ、第１プレイエリアと第２プレイエリアの境界位置を検知する第１センサーと、
前記第２移動レールに取付けられ、第１プレイエリアと第２プレイエリアの境界位置を検知する第２センサーと、
前記第１センサー及び前記第２センサーを作動させる作動部であって、左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された作動部と、
を備え、
前記固定レールは、前記第１移動レールと前記第２移動レールとの間での移動後の位置において前記作動部を支持することにより、第１プレイエリアと第２プレイエリアの境界位置を変更可能にする、
ことを特徴とする景品取得ゲーム装置である。
このような景品取得ゲーム装置によれば、サービス提供者（例えば、店員等）は、固定レールに沿って作動部の左右方向の位置を調整することで、第１プレイエリア及び第２プレイエリアの大きさを同時に変更にすることが可能となる。

【００１３】

また、かかる景品取得ゲーム装置であって、
前記第１移動レールの左右方向に沿う移動によって作動部が第１センサーを作動させた場合に、前記第１移動レールを第１プレイエリアと第２プレイエリアの境界位置で停止させ、前記第２移動レールの左右方向に沿う移動によって作動部が第２センサーを作動させた場合に、前記第２移動レールを第１プレイエリアと第２プレイエリアの境界位置で停止させる制御部を備えることとしても良い。
このような景品取得ゲーム装置によれば、第１プレイエリアに対応させて第１景品取得部の可動範囲を制限できると共に、第２プレイエリアに対応させて第２景品取得部の可動範囲を制限することができる。

【００１４】

＝＝＝実施形態＝＝＝
＜＜景品取得ゲーム装置１の構成について＞＞
本実施形態に係る景品取得ゲーム装置１の構成例について、図１乃至図４を用いて説明する。図１は、本実施形態に係る景品取得ゲーム装置１の構成を示す外観図である。図２は、本実施形態に係る景品取得ゲーム装置１の構成を示す概略斜視図である。なお、図２では、図１に示す開閉扉１１、柱部１２の一部、景品取得部２０等を取り外した状態を示している。図３は、本実施形態に係る景品取得ゲーム装置１の構成を示すブロック図である。図４は、本実施形態に係る景品取得部２０の構成を示す概略図である。なお、図４では、景品取得部２０のデザインカバーを取り外した状態を示している。

【００１５】

以下の説明では、各図に示すように各方向を定義する。すなわち、鉛直方向を「上下方向」とし、重力に従って「上」と「下」を定義する。また、景品取得ゲーム装置１に対峙してゲームプレイする遊戯者から見たときを基準にして、手前側を「前」とし、奥側を「後」として「前後方向」定義する。また、上下方向及び前後方向に垂直な方向を「左右方向」とし、前記遊戯者から見たときを基準にして、「右」と「左」を定義する。

【００１６】

本実施形態に係る景品取得ゲーム装置１は、遊戯者が景品取得ゲームをプレイする際に

用いられるものであり、１又は複数の景品を収容する収容部１０と、収容部１０の下方に設けられた基台部８０を備えている。

【００１７】

収容部１０は、図１に示すように、その収容空間内に収容された景品を遊戯者が視認できるように前面及び左右側面が透明部材（例えば、透明な樹脂、ガラス等）によって形成されている。収容部１０の前面には、開閉扉１１が設けられており、サービス提供者（例えば、店員等）が景品の陳列や補充等を行うことができる。収容部１０の四角には、柱部１２が設けられている。

【００１８】

収容部１０によって囲われた収容空間は、遊戯者が景品取得ゲームをプレイするためのプレイエリアとして用いられる。開閉扉１１の両側にある柱部１２を、鏡面状部材や透明部材で形成した場合には、視覚的に目立たせなくし、プレイエリアを広く見せることができる。

【００１９】

本実施形態における収容部１０は、図１及び図２に示すように、収容空間において景品の取得動作を行う景品取得部２０と、収容空間において景品取得部２０を移動させる移動部５０と、収容空間において景品を展示するための展示部６０を有している。

【００２０】

本実施形態では、遊戯者が景品取得ゲームをプレイする第１プレイエリアが収容空間内の左側に形成され、収容空間内の右側に第２プレイエリアが形成される。左側の第１プレイエリアと右側の第２プレイエリアのそれぞれに対応させて、景品取得部２０及び展示部６０が配置されている。そのため、各々のプレイエリア内では、各々の景品取得部２０が移動して各々の展示部６０に展示された景品を取得できるように構成されている。

【００２１】

本実施形態に係る景品取得部２０は、図１に示すように、左側の第１プレイエリアに対応させた第１景品取得部２０ａと、右側の第２プレイエリアに対応させた第２景品取得部２０ｂを有している。第１景品取得部２０ａの収容空間内での可動範囲は、第１プレイエリア内に制限され、第２景品取得部２０ｂの収容空間内での可動範囲は、第２プレイエリア内に制限される。

【００２２】

景品取得部２０は、収容部１０に収容された景品（展示部６０に展示された景品）をアームの開閉動作によって取得するためのものである。本実施形態における景品取得部２０は、図１に示すように、３本のアームによって景品を把持できるように構成され、昇降部５２ａの下端に連結されている。

【００２３】

本実施形態に係る景品取得部２０は、図４に示すように、昇降部５２ａの下端に連結されるベース部２１と、開閉動作を行う複数のアーム部２５と、アーム部２５を開閉駆動する駆動部３５を有する。

【００２４】

ベース部２１は、鉛直方向に沿う中心軸を中心として３方向に１２０度間隔でずらした三つ又形状の突出部２２を有している。

【００２５】

アーム部２５は、Ｌ字状や半円状に屈曲したアーム２９と、アーム２９をベース部２１に対して着脱可能に連結するアーム連結部２８と、アーム２９の先端に着脱可能に取付けられた爪３０を有する。

【００２６】

アーム２９は、第１のアーム２９Ａ、第２のアーム２９Ｂ、第３のアーム２９Ｃの３本からなり、突出部２２の三つ又形状に合うように、ベース部２１の中心軸を中心として３方向に１２０度間隔でずらした三つ又形状に延在する。

【００２７】

駆動部３５は、第１の駆動部３５Ａ、第２の駆動部３５Ｂ、第３の駆動部３５Ｃの３つからなり、アーム毎に設けられている。第１の駆動部３５Ａ、第２の駆動部３５Ｂ、第３の駆動部３５Ｃは、図４に示すように、第１のアーム２９Ａ、第２のアーム２９Ｂ、第３のアーム２９Ｃのそれぞれに対応して、別々に開閉駆動する。

【００２８】

第１の駆動部３５Ａは、アーム開閉用モーター３５Ａａと、アーム開閉用モーター３５Ａａに連結されたギアボックス３５Ａｂを有する。ギアボックス３５Ａｂは、アーム開閉用モーター３５Ａａの回転力を減速して出力するものである。

【００２９】

同様にして、第２の駆動部３５Ｂは、アーム開閉用モーター３５Ｂａと、アーム開閉用モーター３５Ｂａに連結されたギアボックス３５Ｂｂを有し、また、第３の駆動部３５Ｃは、アーム開閉用モーター３５Ｃａと、アーム開閉用モーター３５Ｃａに連結されたギアボックス３５Ｃｂを有する。

【００３０】

本実施形態に係る景品取得部２０では、例えば第１のアーム２９Ａが開いた状態の場合、アーム開閉用モーター３５Ａａが出力軸を所定方向に回転させると、ギアボックス３５Ａｂを介して第１のアーム２９Ａに動力が伝わり、第１のアーム２９Ａが閉じる方向に回動する。このとき、第２のアーム２９Ｂ及び第３のアーム２９Ｃも、アーム開閉用モーター３５Ｂａ及びアーム開閉用モーター３５Ｃａのそれぞれの駆動により、同様にして閉じる方向に回動する。

【００３１】

移動部５０は、図１に示すように、収容部１０内の上部に配置されており、収容部１０によって形成されたプレイエリア内で景品取得部２０を移動させるものである。本実施形態における移動部５０は、図３に示すように、水平移動部５１と鉛直移動部５２を有している。

【００３２】

水平移動部５１は、プレイエリアにおいて水平方向（つまり、前後方向及び左右方向）に景品取得部２０を移動させるものである。鉛直移動部５２は、プレイエリアにおいて鉛直方向（つまり、上下方向）に景品取得部２０を移動させるものである。

【００３３】

展示部６０は、収容部１０において景品を展示するためのものである。本実施形態に係る展示部６０は、収容空間に景品を載置して展示するものであり、図２に示すように、支持部６１と、収容空間に配置されることによって開口領域７１を形成する第１景品載置部６２と、収容空間に配置されることによって開口領域７１の一部を塞いで景品を落下させる落下口領域７２を形成する第２景品載置部６３を有する。

【００３４】

支持部６１は、収容空間において第１景品載置部６２及び第２景品載置部６３を配置可能に支持するものである。本実施形態では、第１景品載置部６２を収容空間内で配置換えできないように固定して支持し、第２景品載置部６３を収容空間内で配置換え可能に支持する。

【００３５】

本実施形態の支持部６１は、第１景品載置部６２の下側において、第２景品載置部６３が摺動可能な状態で支持している。そのため、前後方向に第２景品載置部６３をスライドさせることで、第１景品載置部６２に対する第２景品載置部６３の配置換えを行い、景品を載置できる載置領域の形状や大きさを変えたり、落下口領域７２の形状や大きさを変えたりすることができる。

【００３６】

第１景品載置部６２は、原則として配置を変更することができないものとして、収容空間内に固定されている。図２に示すように、収容空間内において第１景品載置部（固定景品載置部）が設けられていない領域（塞がれていない領域）は開口領域７１である。

【００３７】
第２景品載置部６３は、収容空間内において配置換え可能に構成されており、図２に示すように、開口領域７１の一部を塞ぐように支持部６１に支持されることで、落下口領域７２を形成する。
【００３８】
景品取得部２０によって取得後に落下された景品は、展示部６０の落下口領域７２を通過（落下）すると、プレイエリアから基台部８０へ移動したことになる。展示部６０の落下口領域７２から落下した景品は、光学センサーによって検出された後、誘導経路によって景品取出口９６まで導かれる。光学センサーは、その誘導経路上に取付けられている発光部と受光部によって景品の有無を検出する。
【００３９】
基台部８０は、収容部１０の下方に設けられた筐体のベース部分であって、遊戯者が起立した状態で正面を向いたままゲームプレイができるよう収容部１０を高い位置に保持するものである。
【００４０】
本実施形態における基台部８０は、図１乃至図３に示すように、操作部９０と、プレイ料金検出部９３と、景品取出口９６と、設定部１００と、制御部１１０と、記憶部１２０を有している。
【００４１】
操作部９０は、遊戯者がゲーム操作を行うためのものである。本実施形態における操作部９０は、図１乃至図３に示すように、少なくともジョイスティック９１と、操作ボタン９２を有している。
【００４２】
ジョイスティック９１は、景品取得部２０を水平方向に移動させるために遊戯者が用いる操作用レバーである。操作ボタン９２は、水平方向における景品取得部２０の位置を決定するために遊戯者が用いる操作用のボタンである。遊戯者によって操作ボタン９２が押されると、その決定された位置で景品取得部２０が下降し始める。
【００４３】
プレイ料金検出部９３は、遊戯者によるプレイ料金の支払いを検出するためのものである。本実施形態におけるプレイ料金検出部９３は、コイン投入口９４と、不図示のコイン検出センサーと、不図示のコイン通過経路、不図示のコインボックスを有している。
【００４４】
本実施形態では、遊戯者によって所定枚数のコインがコイン投入口９４から投入されることにより、景品取得ゲームが開始される。コイン投入口９４から投入されたコインは、コイン検出センサーによって検出される。
【００４５】
コイン検出センサーは、例えば光学式のセンサーであって、コイン通貨経路上に取付けられている発光部と受光部により、コイン投入口９４から投入されたコインの有無を検出する。このようにしてコイン通貨経路を通過したコインは、コインボックスに収容される。
【００４６】
景品取出口９６は、基台部８０の前面に設けられており、景品取得部２０によって取得された景品が展示部６０における落下口領域７２から落下した際に、その落下した景品を取り出すためのものである。
【００４７】
設定部１００は、遊戯者がゲーム操作などを行う際、又は、サービス提供者が設定操作を行う際に利用するためのものである。本実施形態における設定部１００は、図１乃至図３に示すように、設定操作部１０１と、表示部１０２を有している。
【００４８】
設定操作部１０１は、操作入力を受け付けるためのものである。本実施形態における設

定操作部１０１は、タッチパネルによって構成されており、その押圧位置から操作者の入力指示を受け付ける。

【００４９】

タッチパネルは、表示部１０２の上に積層されており、画面に対するタッチ操作が行われると、その指先と導電膜との間での静電容量の変化に基づき押圧位置（接触位置）を検出することができる。

【００５０】

表示部１０２は、ゲーム画面や設定画面などの各種画面を表示するものである。本実施形態における表示部１０２は、液晶ディスプレイによって構成されている。

【００５１】

制御部１１０は、基台部８０の内部に設けられており、景品取得ゲーム装置１の各種制御を行うための制御ユニットである。制御部１１０は、図３に示すように、ＣＰＵ１１１と、メモリー１１２を少なくとも有する。

【００５２】

ＣＰＵ１１１は、ゲーム装置全体の制御を行うための演算処理装置である。メモリー１１２は、ＣＰＵ１１１のプログラムを格納する領域や作業領域等を確保するためのものであり、ＲＡＭ等の記憶素子を有する。

【００５３】

記憶部１２０は、制御部１１０がゲーム処理を実行するためのプログラムやデータを格納するユニットである。本実施形態では、読み取り専用の記憶領域であるＲＯＭ等の記憶素子を有する。

【００５４】

＜＜移動部５０の構成について＞＞

本実施形態に係る移動部５０の構成例について、図５乃至図９を用いて説明する。図５は、本実施形態に係る移動部５０の構成を示す概略斜視図である。図６は、本実施形態に係る移動部５０の構成を示す平面側斜視図である。図７は、本実施形態に係る移動部５０の構成を示す右面側斜視図である。図８は、本実施形態に係る第１右端作動部５３２の構成を示す概略斜視図である。図９は、本実施形態に係る第２左端作動部５３３の構成を示す概略斜視図である。

【００５５】

以下では、本実施形態に係る移動部５０が有する水平移動部５１及び鉛直移動部５２の構成について具体的に説明する。

【００５６】

水平移動部５１は、図５に示すように、左右移動部５３と前後移動部５４を有している。左右移動部５３は、プレイエリアにおいて左右方向に景品取得部２０を移動させるものである。前後移動部５４は、プレイエリアにおいて前後方向に景品取得部２０を移動させるものである。

【００５７】

本実施形態に係る左右移動部５３は、図５に示すように、収納空間内で左右方向に延在する一対の固定レール５３ａと、前側の固定レール５３ａの左右両端に配置された左右移動用モーター５３ｂを有している。

【００５８】

本実施形態に係る前後移動部５４は、図５に示すように、収納空間内で前後方向に延在する複数の移動レール５４ａと、各々の移動レール５４ａの前端に配置された前後移動用モーター５４ｂを有している。

【００５９】

鉛直移動部５２は、図５に示すように、上下方向に沿って伸縮自在に構成された昇降部５２ａと、昇降部５２ａを昇降自在に吊設する吊設部５２ｂを有している。昇降部５２ａは、順次小径となる複数のパイプを入子式に摺動自在に嵌合させて構成されている。昇降部５２ａの下端には、パイプの内側を通過するワイヤーに接続された状態で景品取得部２

０が取付けられている。吊設部５２ｂの下端には、景品取得部２０を吊り下げた状態で昇降部５２ａが取付けられている。吊設部５２ｂの上端は、移動レール５４ａによって前後方向に沿って移動自在に支持されている。

【００６０】

本実施形態に係る鉛直移動部５２は、吊設部５２ｂの内部に、ワイヤー巻取部と、上下移動用モーターと、上限センサーと、下限センサーを有している。ワイヤー巻取部は、上下移動用モーターの駆動により、ワイヤーを巻き上げることによって上位のパイプに下位のパイプを順次収納しつつ景品取得部２０を上昇させ、又は、ワイヤーを巻き戻すことによって上位のパイプから下位のパイプを順次送出させつつ景品取得部２０を下降させる。上限センサーは、景品取得部２０に接続されたワイヤーの巻き上げにより、景品取得部２０の上昇が止まった状態か否かを検出するものである。下限センサーは、景品取得部２０に接続されたワイヤーの張力変化に基づき、景品取得部２０の下降が止まった状態か否かを検出するものである。

【００６１】

本実施形態に係る固定レール５３ａは、収納空間内で左右に隣り合う左側の第１プレイエリア及び右側の第２プレイエリアに跨って左右方向に延在するものであり、図５に示すように、左側の第１プレイエリアに対応させた第１移動レール５４ａ１と、右側の第２プレイエリアに対応させた第２移動レール５４ａ２を、それぞれ共用レールに沿って移動自在に支持している。

【００６２】

前側の固定レール５３ａの左端には、図５に示すように、第１移動レール５４ａ１を左右方向に移動させるための第１左右移動用モーター５３ｂ１が配置されている。さらに、前側の固定レール５３ａの右端には、第２移動レール５４ａ２を左右方向に移動させるための第２左右移動用モーター５３ｂ２が配置されている。

【００６３】

前側の固定レール５３ａは断面がコの字状に形成されており、その内側には、第１左右移動用モーター５３ｂ１によって回転駆動される第１主動プーリーと、前側の固定レール５３ａの右端に取り付けられた第１従動プーリーと、第１主動プーリーと第１従動プーリーとの間に掛け渡された第１左右ベルトが配置されている。

【００６４】

さらに、前側の固定レール５３ａの内側には、第２左右移動用モーター５３ｂ２によって回転駆動される第２主動プーリーと、前側の固定レール５３ａの左端に取り付けられた第２従動プーリーと、第２主動プーリーと第２従動プーリーとの間に掛け渡された第２左右ベルトが配置されている。

【００６５】

第１左右ベルトと第２左右ベルトは、前側の固定レール５３ａの内側において互いに平行となるように配置されており、第１移動レール５４ａ１は、第１連結部を介して第１左右ベルトに連結され、第２移動レール５４ａ２は、第２連結部を介して第２１左右ベルトに連結されている。

【００６６】

そのため、第１左右移動用モーター５３ｂ１が正転又は逆転することによって、第１左右ベルトに連結された第１移動レール５４ａ１が、固定レール５３ａに沿って左右方向に往復移動できるようになっている。同様にして、第２左右移動用モーター５３ｂ２が正転又は逆転することによって、第２左右ベルトに連結された第２移動レール５４ａ２が、その固定レール５３ａに沿って左右方向に往復移動できるようになっている。

【００６７】

本実施形態においては、第１移動レール５４ａ１には、図５及び図７に示すように、左側の第１プレイエリアに対応させた第１景品取得部２０ａを吊り下げた第１吊設部５２ｂ１が、前後方向に沿って移動自在に支持されている。すなわち、第１景品取得部２０ａは、前後方向に沿って移動自在に第１移動レール５４ａ１に支持されている。

【００６８】
同様に、第２移動レール５４ａ２には、右側の第２プレイエリアに対応させた第２景品取得部２０ｂを吊り下げた第２吊設部５２ｂ２が、前後方向に沿って移動自在に支持されている。すなわち、第２景品取得部２０ｂは、前後方向に沿って移動自在に第２移動レール５４ａ２に支持されている。
【００６９】
また、図５及び図７に示すように、第１移動レール５４ａ１の前端には、第１景品取得部２０ａを吊り下げた第１吊設部５２ｂ１を前後方向に移動させるための第１前後移動用モーター５４ｂ１が配置されている。
【００７０】
同様に、第２移動レール５４ａ２の前端には、第２景品取得部２０ｂを吊り下げた第２吊設部５２ｂ２を前後方向に移動させるための第２前後移動用モーター５４ｂ２が配置されている。
【００７１】
第１移動レール５４ａ１は断面がコの字状に形成されており、その内側には、第１前後移動用モーター５４ｂ１によって回転駆動される主動プーリーと、第１移動レール５４ａ１の後端に取り付けられた従動プーリーと、主動プーリーと従動プーリーとの間に掛け渡された前後ベルトが配置されている。第１吊設部５２ｂ１は、連結部を介して前後ベルトに連結されている。
【００７２】
そのため、第１前後移動用モーター５４ｂ１が正転又は逆転することによって、前後ベルトに連結された第１吊設部５２ｂ１と共に第１景品取得部２０ａが、第１移動レール５４ａ１に沿って前後方向に往復移動できるようになっている。
【００７３】
同様に、第２移動レール５４ａ２の内側には、第２前後移動用モーター５４ｂ２によって回転駆動される主動プーリーと、第２移動レール５４ａ２の後端に配置された従動プーリーと、主動プーリーと従動プーリーとの間に掛け渡された前後ベルトが配置されている。第２吊設部５２ｂ２は、連結部を介して前後ベルトに連結されている。
【００７４】
そのため、第２前後移動用モーター５４ｂ２が正転又は逆転することによって、前後ベルトに連結された第２吊設部５２ｂ２と共に第２景品取得部２０ｂが、第２移動レール５４ａ２に沿って前後方向に往復移動できるようになっている。
【００７５】
第１移動レール５４ａ１の左前側には、図６に示すように、第１プレイエリアの左端位置を検知する第１左端センサー５４ｃ１が取り付けられている。そして、前側の固定レール５３ａの左端には、図６に示すように、その第１左端センサー５４ｃ１を作動させる第１左端作動部５３１が取り付けられている。
【００７６】
これにより、第１移動レール５４ａ１の左方向への移動によって第１左端作動部５３１が第１左端センサー５４ｃ１を作動させた場合に、第１移動レール５４ａ１と共に第１景品取得部２０ａは、第１プレイエリアでの左右方向の左側への移動が制限される。
【００７７】
第１移動レール５４ａ１の右前側には、図６に示すように、第１プレイエリアの右端位置を検知する第１右端センサー５４ｃ２が取り付けられている。そして、前側の固定レール５３ａの中央には、図６に示すように、その第１右端センサー５４ｃ２を作動させる第１右端作動部５３２が支持されている。
【００７８】
これにより、第１移動レール５４ａ１の右方向への移動によって第１右端作動部５３２が第１右端センサー５４ｃ２を作動させた場合に、第１移動レール５４ａ１と共に第１景品取得部２０ａは、第１プレイエリアでの左右方向の右側への移動が制限される。

【００７９】
第２移動レール５４ａ２の左前側には、図６に示すように、第２プレイエリアの左端位置を検知する第２左端センサー５４ｃ３が取り付けられている。そして、前側の固定レール５３ａの中央には、図６に示すように、その第２左端センサー５４ｃ３を作動させる第２左端作動部５３３が支持されている。
【００８０】
これにより、第２移動レール５４ａ２の左方向への移動によって第２左端作動部５３３が第２左端センサー５４ｃ３を作動させた場合に、第２移動レール５４ａ２と共に第２景品取得部２０ｂは、第２プレイエリアでの左右方向の左側への移動が制限される。
【００８１】
第２移動レール５４ａ２の右前側には、図６に示すように、第２プレイエリアの右端位置を検知する第２右端センサー５４ｃ４が取り付けられている。そして、前側の固定レール５３ａの右端には、図６に示すように、その第２右端センサー５４ｃ４を作動させる第２右端作動部５３４が取り付けられている。
【００８２】
これにより、第２移動レール５４ａ２の右方向への移動によって第２右端作動部５３４が第２右端センサー５４ｃ４を作動させた場合に、第２移動レール５４ａ２と共に第２景品取得部２０ｂは、第２プレイエリアでの左右方向の右側への移動が制限される。
【００８３】
第１左端センサー５４ｃ１、第１右端センサー５４ｃ２、第２左端センサー５４ｃ３、第２右端センサー５４ｃ４は、光学式のセンサーであり、発光部から照射された光を受光部が受光したか否かによって、遮蔽物体の有無を検知する。すなわち、各センサーは、各作動部が発光部と受光部との間に至ることによってこれを検知できる。
【００８４】
第１左端作動部５３１と第２右端作動部５３４は、原則として取り付け位置を変更することができないものとして、前側の固定レール５３ａに固定されている。これに対して、第１右端作動部５３２と第２左端作動部５３３は、左右方向に沿って移動自在に前側の固定レール５３ａに支持されており、取り付け位置を変更できるようになっている（つまり、第１プレイエリアの右端位置及び第２プレイエリアの左端位置のそれぞれを変更できるようになっている）。
【００８５】
第１右端作動部５３２は、第１作動部の一例であって、前側の固定レール５３ａに対してスライド移動可能な部材である。本実施形態の第１右端作動部５３２は、図８に示すように、左右方向の左側に突出し第１右端センサー５４ｃ２（第１センサー）から照射された光を遮る遮蔽部５３２ａと、磁石５３２ｂと、２つの車輪５３２ｃと、前後方向の前側に突出するツマミ部５３２ｄを有する。
【００８６】
本実施形態では、前側の固定レール５３ａの内側の側面には左右方向に延びる凹状の溝が形成されている。前側の固定レール５３ａは、この溝に車輪を載せることによって第１右端作動部５３２を案内できるように支持している。サービス提供者（例えば、店員等）は、ツマミ部５３２ｄを操作して第１右端作動部５３２を前側の固定レール５３ａに沿って左右方向にスライド移動させることで、第１右端作動部５３２の位置を変更して第１プレイエリアの右端位置を調整することができる。第１右端作動部５３２は、磁石５３２ｂによって、スライド移動後に位置決めされた位置を固定可能である（第１右端作動部５３２のスライド移動後の位置を維持可能である）。
【００８７】
第２左端作動部５３３は、第２作動部の一例であって、前側の固定レール５３ａに対してスライド移動可能な部材である。本実施形態の第２左端作動部５３３は、図９に示すように、左右方向の右側に突出し第２左端センサー５４ｃ３（第２センサー）から照射された光を遮る遮蔽部５３３ａと、磁石５３３ｂと、２つの車輪５３３ｃと、前後方向の前側

に突出するツマミ部５３３ｄを有する。
【００８８】
本実施形態では、前述した第１右端作動部５３２と同様に、第２左端作動部５３３は前側の固定レール５３ａの溝に車輪を載せることによって案内される。サービス提供者は、第１右端作動部５３２のツマミ部５３２ｄとは独立して、ツマミ部５３３ｄを操作することで、第１右端作動部５３２を前側の固定レール５３ａに沿って左右方向にスライド移動させ、第２左端作動部５３３の位置を変更して第２プレイエリアの左端位置を調整することができる。第２左端作動部５３３は、磁石５３３ｂによって、スライド移動後に位置決めされた位置を固定可能である（第２左端作動部５３３のスライド移動後の位置を維持可能である）。
【００８９】
このようにして、前側の固定レール５３ａは、第１移動レール５４ａ１と第２左端作動部５３３との間でのスライド移動後の位置において第１右端作動部５３２を支持することにより、第１プレイエリアの右端位置を変更可能にし、第１右端作動部５３２と第２移動レール５４ａ２との間でのスライド移動後の位置において第２左端作動部５３３を支持することにより、第２プレイエリアの左端位置を変更可能にしている。
【００９０】
第１吊設部５２ｂ１の前端には、図７に示すように、第１プレイエリアの前端位置を検知する第１前端センサー５２ｄ１が取り付けられている。そして、第１移動レール５４ａ１の前端には、図７に示すように、その第１前端センサー５２ｄ１を作動させる第１前端作動部５４１が取り付けられている。
【００９１】
これにより、第１吊設部５２ｂ１の前方向への移動によって第１前端作動部５４１が第１前端センサー５２ｄ１を作動させた場合に、第１吊設部５２ｂ１と共に第１景品取得部２０ａは、第１プレイエリアでの前後方向の前側への移動が制限される。
【００９２】
第２吊設部５２ｂ２の前端には、図７に示すように、第２プレイエリアの前端位置を検知する第２前端センサー５２ｄ３が取り付けられている。そして、第２移動レール５４ａ２の前端には、図７に示すように、その第２前端センサー５２ｄ３を作動させる第２前端作動部５４３が取り付けられている。
【００９３】
これにより、第２吊設部５２ｂ２の前方向への移動によって第２前端作動部５４３が第２前端センサー５２ｄ３を作動させた場合に、第２吊設部５２ｂ２と共に第２景品取得部２０ｂは、第２プレイエリアでの前後方向の前側への移動が制限される。
【００９４】
第１吊設部５２ｂ１の後端には、第１プレイエリアの後端位置を検知する第１後端センサー（不図示）が取り付けられている。そして、第１移動レール５４ａ１の後端には、図５に示すように、その第１後端センサーを作動させる第１後端作動部５４２が取り付けられている。
【００９５】
これにより、第１吊設部５２ｂ１の後方向への移動によって第１後端作動部５４２が第１後端センサーを作動させた場合に、第１吊設部５２ｂ１と共に第１景品取得部２０ａは、第１プレイエリアでの前後方向の後側への移動が制限される。
【００９６】
第２吊設部５２ｂ２の後端には、第２プレイエリアの後端位置を検知する第２後端センサー（不図示）が取り付けられている。そして、第２移動レール５４ａ２の後端には、図５及び図７に示すように、その第２後端センサーを作動させる第２後端作動部５４４が取り付けられている。
【００９７】
これにより、第２吊設部５２ｂ２の後方向への移動によって第２後端作動部５４４が第

２後端センサーを作動させた場合に、第２吊設部５２ｂ２と共に第２景品取得部２０ｂは、第２プレイエリアでの前後方向の後側への移動が制限される。

【００９８】

第１前端センサー５２ｄ１、第１後端センサー、第２前端センサー５２ｄ３、第２後端センサーは、光学式のセンサーであり、発光部から照射された光を受光部が受光したか否かによって、遮蔽物体の有無を検知する。すなわち、各センサーは、各作動部が発光部と受光部との間に至ることによってこれを検知できる。

【００９９】

第１前端作動部５４１と第１後端作動部５４２は、原則として取り付け位置を変更することができないものとして、第１移動レール５４ａ１に固定されている。同様に、第２前端作動部５４３と第２後端作動部５４４は、原則として取り付け位置を変更することができないものとして、第２移動レール５４ａ２に固定されている。

【０１００】

＜＜プレイエリアの設定について＞＞

本実施形態におけるプレイエリアの設定について、図１０乃至図１２を用いて説明する。図１０は、第１右端作動部５３２と第２左端作動部５３３を右側へ移動させた状態を示す図である。図１１は、第１右端作動部５３２を左側へ移動させ第２左端作動部５３３を右側へ移動させた状態を示す図である。図１２は、プレイエリアの設定について説明する図である。図１２Ａは、第１プレイエリアＰＡ１と第２プレイエリアＰＡ２を同じ大きさに設定した状態を示す図である。図１２Ｂは、第１プレイエリアＰＡ１よりも小さい第２プレイエリアＰＡ２を設定した状態を示す図である。図１２Ｃは、第１プレイエリアＰＡ１と第２プレイエリアＰＡ２との間に展示エリアＤＡを設定した状態を示す図である。なお、図中では、各エリアが二点鎖線を用いて図示されている。

【０１０１】

サービス提供者（例えば、店員等）の操作により、図５に示すように、第１右端作動部５３２と第２左端作動部５３３が、それぞれ固定レール５３ａの左右方向の中央に移動した場合、第１プレイエリアの右端位置と第２プレイエリアの左端位置は、固定レール５３ａの左右方向の中央に設定されることになる。この場合、図１２Ａに示すように、第１プレイエリアＰＡ１と第２プレイエリアのＰＡ２は同じ大きさとなる。そのため、第１景品取得部２０ａと第２景品取得部２０ｂの収容空間内での可動範囲も同じ大きさになる。

【０１０２】

また、サービス提供者の操作により、図１０に示すように、第１右端作動部５３２と第２左端作動部５３３が、それぞれ固定レール５３ａの左右方向の中央から右方向へスライド移動した場合、第１プレイエリアの右端位置と第２プレイエリアの左端位置は、固定レール５３ａの左右方向の中央から右方向へスライド移動した位置に変更されることになる。この場合、図１２Ｂに示すように、第１プレイエリアＰＡ１は第２プレイエリアのＰＡ２よりも大きくなる。そのため、図５に示す状態に比べて、第１景品取得部２０ａの収容空間内での可動範囲は拡大される一方で、第２景品取得部２０ｂの収容空間内での可動範囲は縮小されることになる。

【０１０３】

また、サービス提供者の操作により、図１１に示すように、第１右端作動部５３２が固定レール５３ａの左右方向の中央から左方向へスライド移動すると共に、第２左端作動部５３３が固定レール５３ａの左右方向の中央から右方向へスライド移動した場合、第１プレイエリアの右端位置は、固定レール５３ａの左右方向の中央から左方向へスライド移動した位置に変更され、第２プレイエリアの左端位置は、固定レール５３ａの左右方向の中央から右方向へスライド移動した位置に変更されることになる。この場合、固定レール５３ａは、第１プレイエリアの右端位置から第２プレイエリアの左端位置まで間隔を開けるように第１右端作動部５３２及び第２左端作動部５３３を支持しているため、図１２Ｃに示すように、第１プレイエリアＰＡ１と第２プレイエリアＰＡ２との間に非プレイエリアＤＡが形成される。そのため、図５に示す状態に比べて、第１景品取得部２０ａと第２景

品取得部２０ｂの収容空間内での可動範囲はそれぞれ縮小されるものの、非プレイエリアＤＡにおいて展示用の景品や装飾品等を載置したり、宣伝やゲーム説明等に用いるディスプレイ（小型モニタ）等を設置したりすることが可能となる。

【０１０４】

＜＜景品取得ゲーム装置１の動作について＞＞

本実施形態に係る景品取得ゲーム装置１の動作について、図１３を用いて説明する。図１３は、本実施形態に係る景品取得ゲーム装置１の動作例を説明するフローチャートである。以下では、第１プレイエリアでの動作例について具体的に説明し、第２プレイエリアについては第１プレイエリアと同様であるため説明を省略する。

【０１０５】

制御部１１０は、プレイ料金検出部９３がコインの投入を検出すると（ステップＳ１０１：ＹＥＳ）、予め設定された操作制限時間の計時を開始する（ステップＳ１０２）。

【０１０６】

次に、制御部１１０は、遊戯者がジョイスティック９１を操作したことによって、第１景品取得部２０ａを水平移動させるための操作信号を受信すると（ステップＳ１０３：ＹＥＳ）、その遊戯者の操作に従って水平移動部５１を駆動させ、第１プレイエリアにおいて第１景品取得部２０ａを水平移動させる（ステップＳ１０４）。

【０１０７】

本実施形態では、制御部１１０は、第１プレイエリアにおいて第１景品取得部２０ａが水平移動している際、第１移動レール５４ａ１の右方向への移動によって第１右端作動部５３２が第１右端センサー５４ｃ２を作動させた場合には、第１景品取得部２０ａを第１プレイエリアの右端位置で停止させる。また、第１吊設部５２ｂ１の後方向への移動によって第１後端作動部５４２が第１後端センサーを作動させた場合には、第１景品取得部２０ａを第１プレイエリアの後端位置で停止させる。また、第１移動レール５４ａ１の左方向への移動によって第１左端作動部５３１が第１左端センサー５４ｃ１を作動させた場合には、第１景品取得部２０ａを第１プレイエリアの左端位置で停止させる。また、第１吊設部５２ｂ１の前方向への移動によって第１前端作動部５４１が第１前端センサー５２ｄ１を作動させた場合には、第１景品取得部２０ａを第１プレイエリアの前端位置で停止させる。

【０１０８】

その一方で、制御部１１０は、遊戯者がジョイスティック９１を操作しない場合には（ステップＳ１０２：ＮＯ）、操作制限時間が経過したか否かを判定する（ステップＳ１０６）。そして、操作制限時間が経過していない場合（ステップＳ１０６：ＮＯ）、ステップＳ１０３の処理へ戻る。操作制限時間が経過した場合には（ステップＳ１０６：ＹＥＳ）、第１景品取得部２０ａを停止させる（ステップＳ１０７）。

【０１０９】

次に、制御部１１０は、遊戯者が操作ボタン９２を操作したことによって、第１景品取得部２０ａの水平移動後の位置を決定するための操作信号を受信した場合に（ステップＳ１０５：ＹＥＳ）、その水平移動後の位置で第１景品取得部２０ａを停止させる（ステップＳ１０７）。

【０１１０】

その一方で、制御部１１０は、遊戯者が操作ボタン９２を操作しない場合には（ステップＳ１０３：ＮＯ）、操作制限時間が経過したか否かを判定する（ステップＳ１０６）。そして、操作制限時間が経過していない場合（ステップＳ１０６：ＮＯ）、ステップＳ１０３の処理へ戻る。操作制限時間が経過した場合には（ステップＳ１０６：ＹＥＳ）、第１景品取得部２０ａを停止させる（ステップＳ１０７）。

【０１１１】

次に、制御部１１０は、第１景品取得部２０ａが停止すると（ステップＳ１０７）、鉛直移動部５２を駆動させ、その第１プレイエリアでの停止位置において第１景品取得部２０ａを下降させる（ステップＳ１０８）。

【０１１２】
制御部１１０は、下限センサーによって第１景品取得部２０ａの下降が止まった状態になったことが検知されると（ステップＳ１０９：ＹＥＳ）、第１景品取得部２０ａを停止させる（ステップＳ１１０）。
【０１１３】
次に、制御部１１０は、第１景品取得部２０ａが停止した状態にあるときに（ステップＳ１１０）、駆動部３５によってアーム部２５を閉じる方向に回転駆動させる（ステップＳ１１１）。
【０１１４】
次に、制御部１１０は、第１景品取得部２０ａのアーム部２５が閉じた状態にあるときに（ステップＳ１１１）、鉛直移動部５２を駆動させて第１景品取得部２０ａを上昇させる（ステップＳ１１２）。
【０１１５】
制御部１１０は、上限センサーによって第１景品取得部２０ａの上昇が止まった状態になったことが検知されると（ステップＳ１１３：ＹＥＳ）、第１景品取得部２０ａを停止させる（ステップＳ１１４）。
【０１１６】
次に、制御部１１０は、水平移動部５１を駆動させることによって第１景品取得部２０ａをホームポジションへ向かって移動させ（ステップＳ１１５）、ホームポジションに到達したか否かを判定する（ステップＳ１１６）。
【０１１７】
本実施形態では、制御部１１０は、第１移動レール５４ａ１の左方向への移動によって第１左端作動部５３１が第１左端センサー５４ｃ１を作動させると共に、第１吊設部５２ｂ１の前方向への移動によって第１前端作動部５４１が第１前端センサー５２ｄ１を作動させた場合に、第１景品取得部２０ａがホームポジションに到達したものとして判定する。
【０１１８】
次に、制御部１１０は、第１景品取得部２０ａがホームポジションに位置した場合に（ステップＳ１１６：ＹＥＳ）、駆動部３５によってアーム部２５を開く方向に回転駆動させる（ステップＳ１１７）。
【０１１９】
以上のとおり、実施形態に係る景品取得ゲーム装置１によれば、サービス提供者は、固定レール５３ａに沿って第１右端作動部５３２（第１作動部）及び第２左端作動部５３３（第２作動部）それぞれの左右方向の位置を調整することで、第１プレイエリア及び第２プレイエリアの大きさを個別に変更にすることが可能となる。そして、大きさが変更された第１プレイエリア及び第２プレイエリアのそれぞれにおいて、第１景品取得部２０ａ及び第２景品取得部２０ｂそれぞれの収容空間内での可動範囲を制限することが可能となる。
【０１２０】
＝＝＝その他の実施形態＝＝＝
上記の実施形態は、本発明の理解を容易にするためのものであり、本発明を限定して解釈するためのものではない。本発明は、その趣旨を逸脱することなく、変更、改良され得ると共に、本発明にはその等価物も含まれる。特に、以下に述べる実施形態であっても、本発明に含まれるものである。すなわち、本発明は、上記の実施形態と以下に述べる実施形態を適宜組み合わせて構成することも可能である。
【０１２１】
また、上記の実施形態に開示されている複数の発明特定事項の適宜組み合わせて、種々の発明を構成することも可能である。例えば、上記の実施形態に開示される全発明特定事項からいくつかの発明特定事項を削除して発明を構成してもよいし、上記の実施形態に開示される全発明特定事項に対して以下に述べる実施形態に開示される発明特定事項を適宜

組み合わせて発明を構成しても良い。

【０１２２】

＜景品＞

上記の実施形態では、収容部１０に収容される景品には、遊戯者が直接的に獲得し得る物品（例えば、ぬいぐるみ等）に限らず、ゲームでの取得対象として収容された物品であって取得後に他の景品と交換可能な物品や、物品自体の提供は行わず得点や順位を競うために用いるものが含まれる。

【０１２３】

＜アーム＞

上記の実施形態では、３本のアーム部２５を有する景品取得部２０を一例として説明したが、本発明はこれに限定されるものではない。例えば、本発明は、２本以下のアーム部２５を有する景品取得部２０や、４本以上のアーム部２５を有する景品取得部２０にも適用できる。

【０１２４】

＜可動式の作動部＞

上記の実施形態では、第１右端作動部５３２（第１作動部）及び第２左端作動部５３３（第２作動部）ぞれぞれが、固定レール５３ａに沿ってスライド移動して左右方向の位置を変更できる場合を例に挙げて説明したが、本発明はこれに限られるものではなく、図１４に示すように、第１右端作動部５３２（第１作動部）と第２左端作動部５３３（第２作動部）を一体型にした作動部５３５でも良い。

【０１２５】

この場合、一体型の作動部５３５は、第１移動レール５４ａ１と第２移動レール５４ａ２との間でスライド移動可能に固定レール５３ａに支持されることになる。そして、第１右端センサー５４ｃ２（第１センサー）及び第２左端センサー５４ｃ３（第２センサー）は、第１プレイエリアと第２プレイエリアの境界位置を検知するセンサーとして機能することになる。そのため、サービス提供者は、固定レール５３ａに沿って一体型の作動部の左右方向の位置を調整することで、第１プレイエリア及び第２プレイエリアの大きさを同時に変更にすることが可能となる。

【０１２６】

また、上記の実施形態では、第１右端作動部５３２（第１作動部）及び第２左端作動部５３３（第２作動部）ぞれぞれが、２つの車輪を有する場合を例に挙げて説明したが、本発明はこれに限られるものではない。例えば、車輪を有さない第１右端作動部５３２（第１作動部）及び第２左端作動部５３３（第２作動部）ぞれぞれを、前側の固定レール５３ａの内側にある溝に対して摺動可能に嵌め込む構造にしてもよい。

【０１２７】

＜可動式のセンサー＞

上記の実施形態では、第１右端センサー５４ｃ２（第１センサー）及び第２左端センサー５４ｃ３（第２センサー）ぞれぞれが、固定レール５３ａに沿ってスライド移動して左右方向の位置を変更できるようにしても良い。

【０１２８】

この場合、第１移動レール５４ａ１の右前側に、第１右端センサー５４ｃ２に代えて第１右端作動部５３２（第１作動部）を取り付け、第２移動レール５４ａ２の左前側に、第２左端センサー５４ｃ３に代えて第２左端作動部５３３（第２作動部）を取り付ける。これにより、サービス提供者は、固定レール５３ａに沿って第１右端センサー５４ｃ２（第１センサー）及び第２左端センサー５４ｃ３（第２センサー）ぞれぞれの左右方向の位置を調整することで、第１プレイエリア及び第２プレイエリアの大きさを個別に変更にすることが可能となる。

【０１２９】

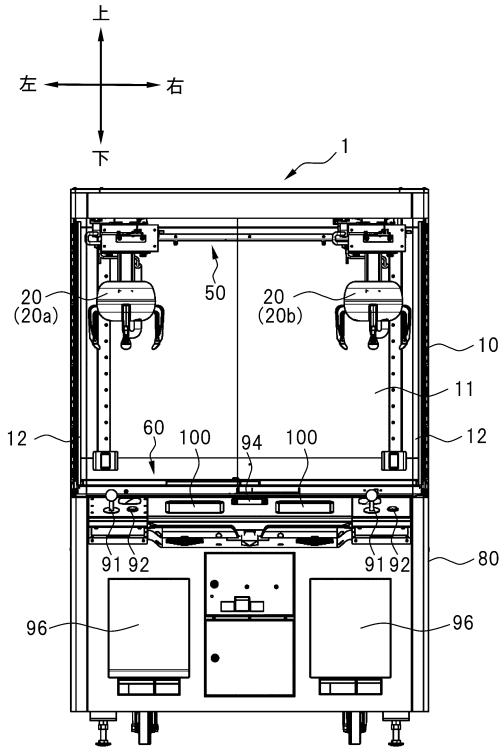
なお、第１右端センサー５４ｃ２（第１センサー）と第２左端センサー５４ｃ３（第２センサー）を一体型にしても良い。

【０１３０】
＜前端作動部・後端作動部＞
上記の実施形態では、第１前端作動部５４１と第１後端作動部５４２ぞれぞれが、第１移動レール５４ａ１に沿って前後方向の位置を変更できるようにすることも可能である。同様にして、第２前端作動部５４３と第２後端作動部５４４ぞれぞれが、第２移動レール５４ａ２に沿って前後方向の位置を変更できるようにすることも可能である。
この場合、例えば、第１移動レール５４ａ１と第２移動レール５４ａ２それぞれに、前後方向に沿って等間隔で複数のネジ穴を形成し、変更後の位置で前端作動部・後端作動部を取り付けられるようにする。
【符号の説明】
【０１３１】
１　景品取得ゲーム装置
１０　収容部
１１　開閉扉
１２　柱部
２０　景品取得部
２０ａ　第１景品取得部
２０ｂ　第２景品取得部
２１　ベース部
２２　突出部
２５　アーム部
２８　アーム連結部
２９　アーム
２９Ａ　第１のアーム
２９Ｂ　第２のアーム
２９Ｃ　第３のアーム
３０　爪
３５　駆動部
３５Ａ　第１の駆動部
３５Ａａ　アーム開閉用モーター
３５Ａｂ　ギアボックス
３５Ｂ　第２の駆動部
３５Ｂａ　アーム開閉用モーター
３５Ｂｂ　ギアボックス
３５Ｃ　第３の駆動部
３５Ｃａ　アーム開閉用モーター
３５Ｃｂ　ギアボックス
５０　移動部
５１　水平移動部
５２　鉛直移動部
５２ａ　昇降部
５２ｂ　吊設部
５２ｂ１　第１吊設部
５２ｂ２　第２吊設部
５２ｄ１　第１前端センサー
５２ｄ３　第２前端センサー
５３　左右移動部
５３ａ　固定レール
５３ｂ　左右移動用モーター
５３ｂ１　第１左右移動用モーター

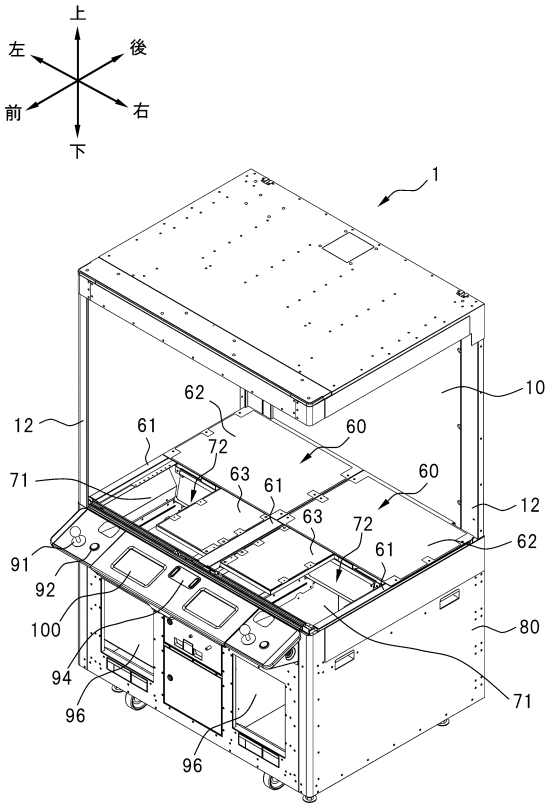
５３ｂ２　第２左右移動用モーター
５４　前後移動部
５４ａ　移動レール
５４ａ１　第１移動レール
５４ａ２　第２移動レール
５４ｂ　前後移動用モーター
５４ｂ１　第１前後移動用モーター
５４ｂ２　第２前後移動用モーター
５４ｃ１　第１左端センサー
５４ｃ２　第１右端センサー
５４ｃ３　第２左端センサー
５４ｃ４　第２右端センサー
６０　展示部
６１　支持部
６２　第１景品載置部
６３　第２景品載置部
７１　開口領域
７２　落下口領域
８０　基台部
９０　操作部
９１　ジョイスティック
９２　操作ボタン
９３　プレイ料金検出部
９４　コイン投入口
９６　景品取出口
１００　設定部
１０１　設定操作部
１０２　表示部
１１０　制御部
１１１　ＣＰＵ
１１２　メモリー
１２０　記憶部
５３１　第１左端作動部
５３２　第１右端作動部
５３２ａ　遮蔽部
５３２ｂ　磁石
５３２ｃ　車輪
５３２ｄ　ツマミ部
５３３　第２左端作動部
５３３ａ　遮蔽部
５３３ｂ　磁石
５３３ｃ　車輪
５３３ｄ　ツマミ部
５３４　第２右端作動部
５３５　作動部
５４１　第１前端作動部
５４２　第１後端作動部
５４３　第２前端作動部
５４４　第２後端作動部

【図面】

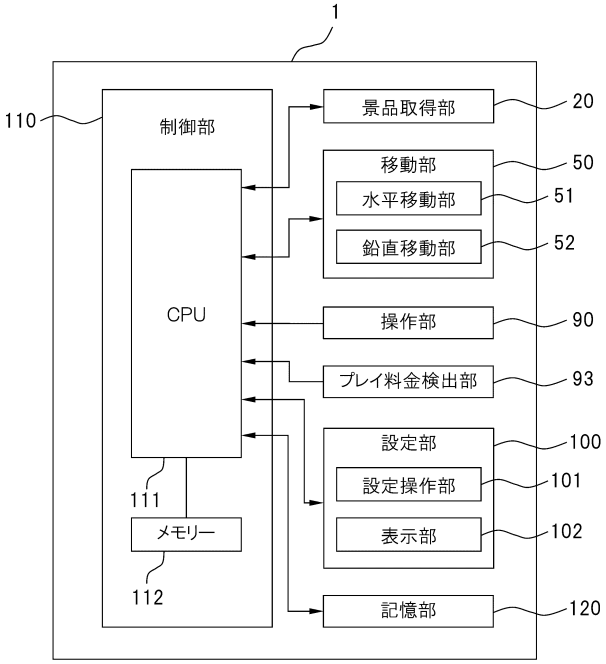
【図１】


上
左
右
下
1
20
(20a)
50
20
(20b)
10
11
12
60
100
94
100
12
91
92
91
92
80
96
96

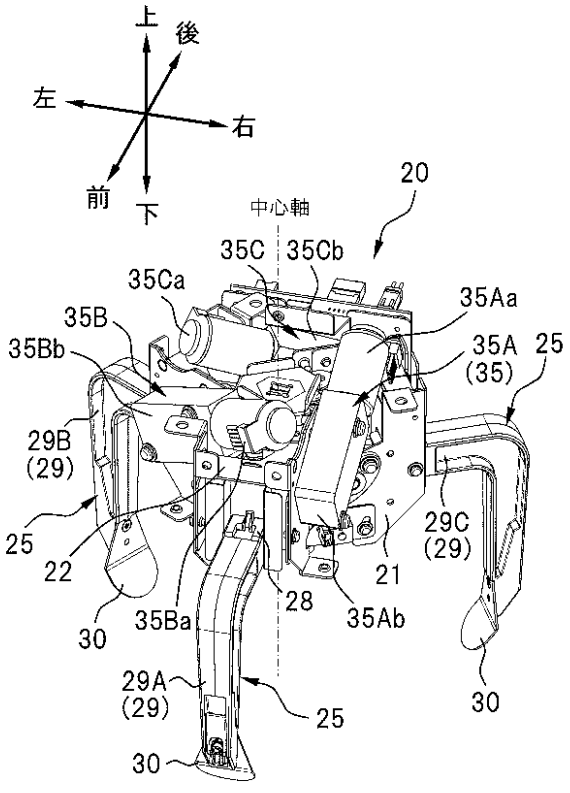
【図２】


上
後
左
前
右
下
1
10
62
12
61
60
72
71
63
61
60
12
63
72
62
61
91
92
100
80
94
96
71
96

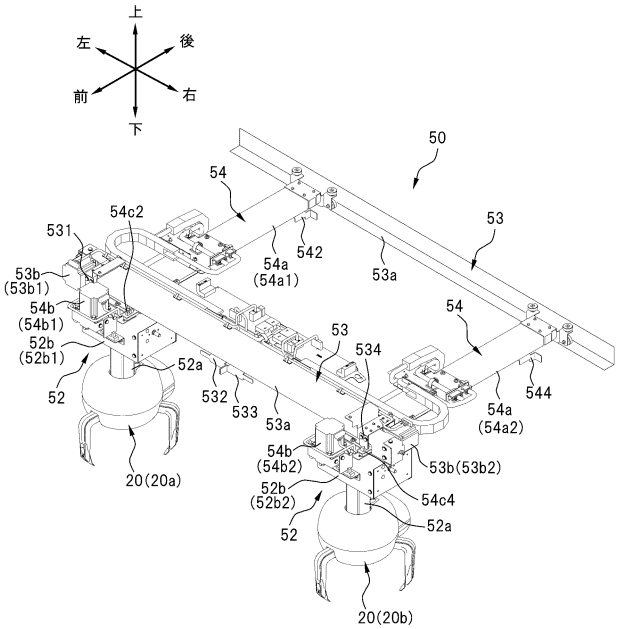
【図３】


1
110
制御部
CPU
111
メモリー
112
景品取得部
20
移動部
50
水平移動部
51
鉛直移動部
52
操作部
90
プレイ料金検出部
93
設定部
100
設定操作部
101
表示部
102
記憶部
120

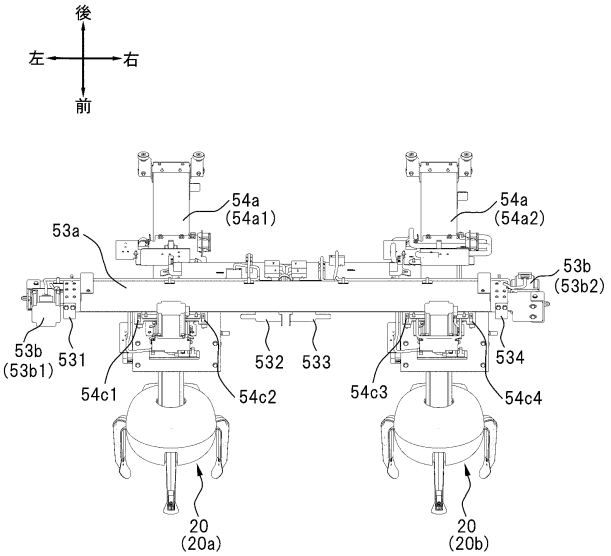
【図４】


上
後
左
右
前
下
中心軸
20
35C
35Cb
35Ca
35Aa
35B
35A
(35)
25
35Bb
29B
(29)
25
22
30
35Ba
28
35Ab
21
29C
(29)
29A
(29)
25
30
30

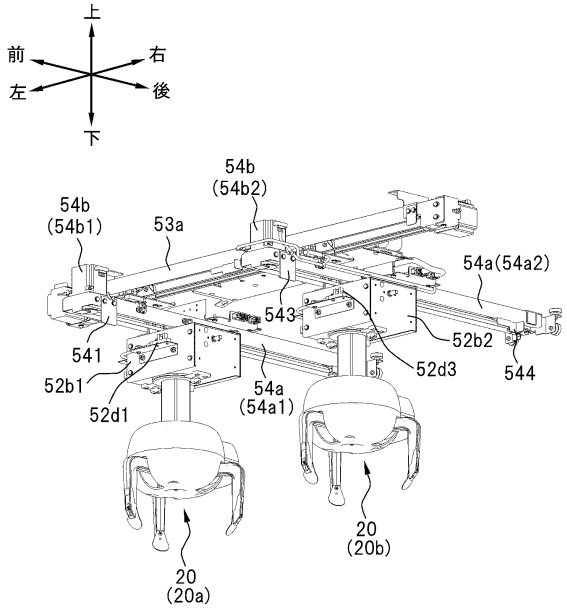
【図５】


上
左
後
前
右
下
50
54
54c2
531
53
53b
(53b1)
54a
(54a1)
542
53a
54b
(54b1)
52b
(52b1)
52a
52
532
533
53a
534
54
544
54a
(54a2)
54b
(54b2)
53b(53b2)
52b
(52b2)
54c4
52a
20(20a)
20(20b)

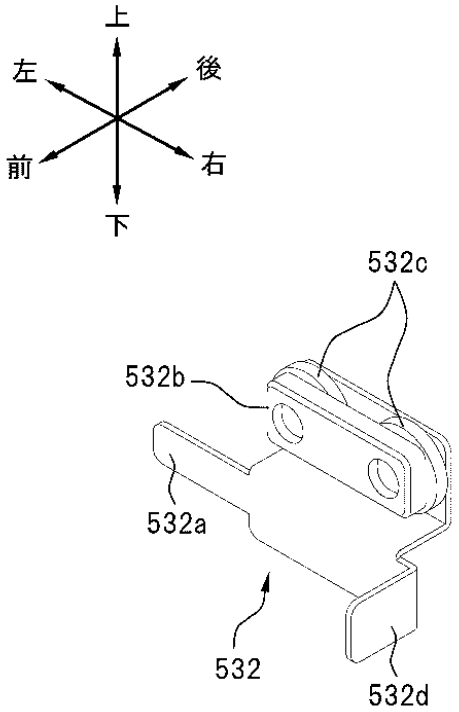
【図６】


後
左
右
前
54a
(54a1)
54a
(54a2)
53a
53b
(53b2)
53b
(53b1)
531
532
533
534
54c1
54c2
54c3
54c4
20
(20a)
20
(20b)

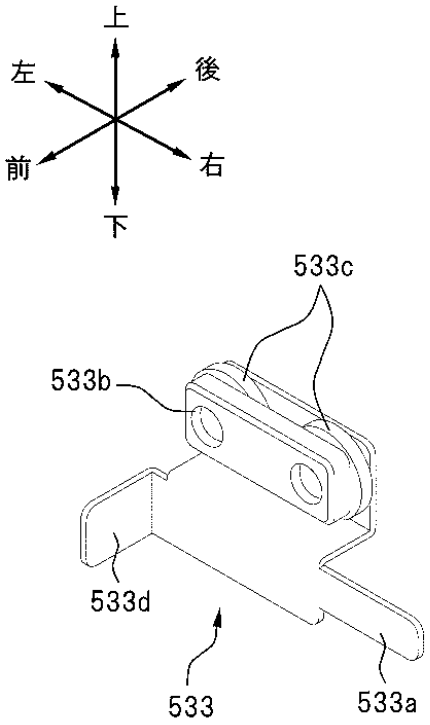
【図７】


上
前
右
左
後
下
54b
(54b2)
54b
(54b1)
53a
54a(54a2)
543
52b2
541
52b1
52d3
544
52d1
54a
(54a1)
20
(20b)
20
(20a)

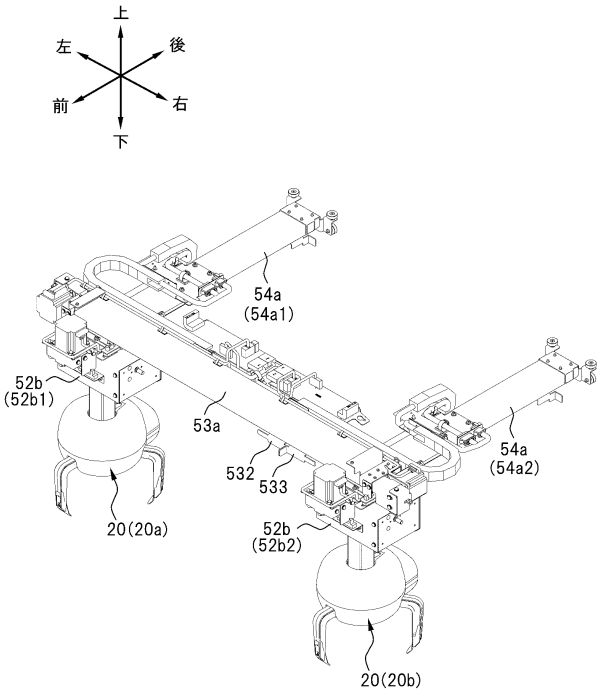
【図８】


上
左
後
前
右
下
532c
532b
532a
532
532d

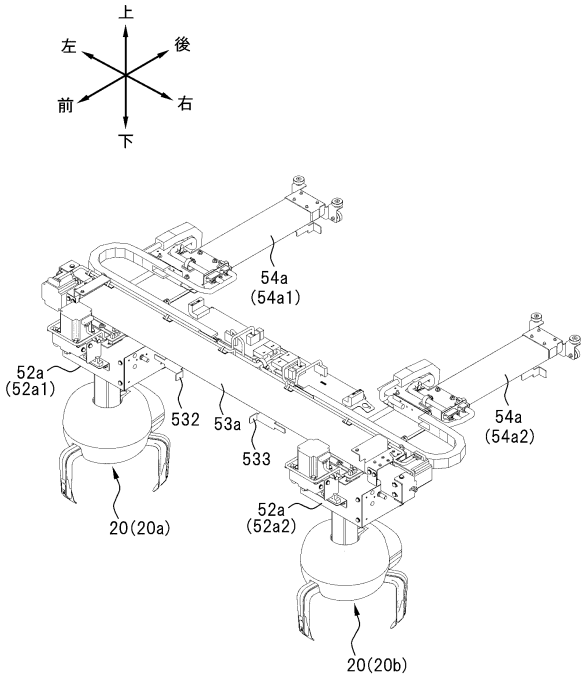
【図９】



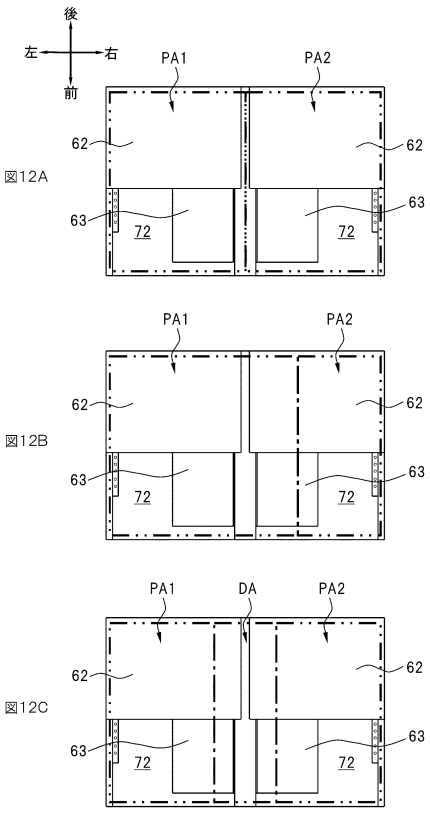
【図１０】



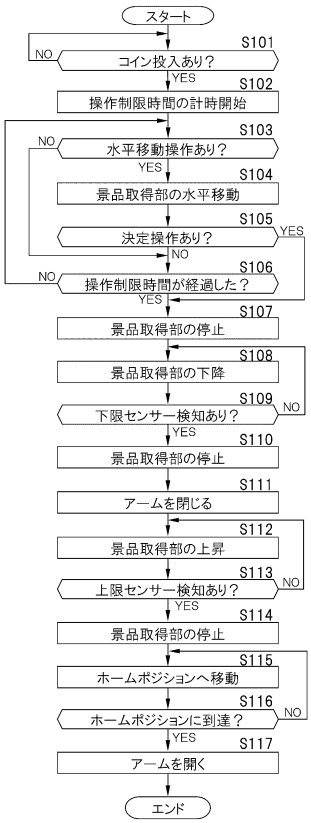
【図１１】



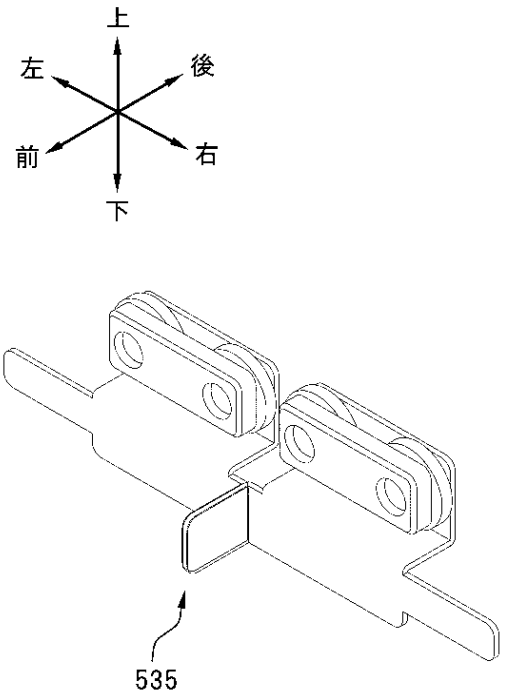
【図１２】



【図１３】


スタート
S101
コイン投入あり？
NO
YES
S102
操作制限時間の計時開始
S103
水平移動操作あり？
NO
YES
S104
景品取得部の水平移動
S105
決定操作あり？
YES
NO
S106
操作制限時間が経過した？
NO
YES
S107
景品取得部の停止
S108
景品取得部の下降
S109
下限センサー検知あり？
NO
YES
S110
景品取得部の停止
S111
アームを閉じる
S112
景品取得部の上昇
S113
上限センサー検知あり？
NO
YES
S114
景品取得部の停止
S115
ホームポジションへ移動
S116
ホームポジションに到達？
NO
YES
S117
アームを開く
エンド

【図１４】


上
左
後
前
右
下
535

【手続補正書】
【提出日】令和6年8月1日(2024.8.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
景品を収容する収納空間内で左右に隣り合う左側の第１プレイエリア及び右側の第２プレイエリアに跨って左右方向に延在する固定レールと、
前記第１プレイエリアにおいて、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第１移動レールと、
前後方向に沿って移動自在に前記第１移動レールに支持された第１景品取得部と、
前記第１移動レールに取付けられ、第１プレイエリアの右端位置を検知する第１センサーと、
前記第１センサーを作動させる第１作動部であって、左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第１作動部と、
前記第２プレイエリアにおいて、前記固定レールに直交して左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第２移動レールと、
前後方向に沿って移動自在に前記第２移動レールに支持された第２景品取得部と、
前記第２移動レールに取付けられ、第２プレイエリアの左端位置を検知する第２センサーと、
前記第２センサーを作動させる第２作動部であって、左右方向に沿って移動自在に前記固定レールに支持された第２作動部と、
収納空間内で景品を展示するための展示部と、
を備え、
前記展示部は、前記固定レールの左右方向の中央から左側に第１景品を展示するための第１展示部と、前記中央から右側に第２景品を展示するための第２展示部を有し、
前記固定レールは、前記中央から右側での移動後の位置において前記第１作動部を支持することにより、前記第１景品取得部が前記第１展示部に展示された第１景品だけでなく前記第２展示部に展示された第２景品をも取得できるように第１プレイエリアの右端位置を変更可能にし、前記中央から左側での移動後の位置において前記第２作動部を支持することにより、前記第２景品取得部が前記第２展示部に展示された第２景品だけでなく前記第１展示部に展示された第１景品をも取得できるように第２プレイエリアの左端位置を変更可能にする、
ことを特徴とする景品取得ゲーム装置。
【請求項２】
前記第１移動レールの左右方向に沿う移動によって第１作動部が第１センサーを作動させた場合に、前記第１移動レールを第１プレイエリアの右端位置で停止させ、前記第２移動レールの左右方向に沿う移動によって第２作動部が第２センサーを作動させた場合に、前記第２移動レールを第２プレイエリアの左端位置で停止させる制御部と、
を備えたことを特徴とする請求項１に記載の景品取得ゲーム装置。
【請求項３】
前記固定レールは、第１プレイエリアの右端位置から第２プレイエリアの左端位置まで間隔を開けるように第１作動部及び第２作動部を支持した場合に、第１プレイエリアと第２プレイエリアとの間に非プレイエリアを形成可能にする、
ことを特徴とする請求項１又は２に記載の景品取得ゲーム装置。
【請求項４】
前記固定レールは、前記第１作動部及び前記第２作動部を左右方向に沿ってスライド移

動可能に支持し、
　前記第１作動部及び前記第２作動部は、スライド移動後の位置において磁石によって前記固定レールに位置決めされる、
　ことを特徴とする請求項１又は２に記載の景品取得ゲーム装置。
【請求項５】
前記固定レールは、前記第１作動部及び前記第２作動部を左右方向に沿ってスライド移動可能に支持し、
前記第１作動部及び前記第２作動部は、前後方向の前側に突出するツマミ部をそれぞれ有しており、それぞれの前記ツマミ部が操作されることによって左右方向に沿ってスライド移動する、
ことを特徴とする請求項１に記載の景品取得ゲーム装置。
【請求項６】
前記固定レールは、
前記第１作動部及び前記第２作動部を左右方向に沿ってスライド移動可能に案内するための溝を有しており、
前記溝を前記第１作動部の車輪が転がることによって左右方向に沿ってスライド移動可能に案内し、前記溝を前記第２作動部の車輪が転がることによって左右方向に沿ってスライド移動可能に案内する、
ことを特徴とする請求項１に記載の景品取得ゲーム装置。
【請求項７】
前記第１作動部及び前記第２作動部は、スライド移動後の位置において磁石によって前記固定レールに位置決めされる、
ことを特徴とする請求項５又は６に記載の景品取得ゲーム装置。

フロントページの続き

東京都品川区西品川一丁目１番１号　住友不動産大崎ガーデンタワー　株式会社セガ内
(72)発明者　冨永　麻子
東京都品川区西品川一丁目１番１号　住友不動産大崎ガーデンタワー　株式会社セガ内
(72)発明者　福永　桃子
東京都品川区西品川一丁目１番１号　住友不動産大崎ガーデンタワー　株式会社セガ内
(72)発明者　花房　裕樹
東京都品川区西品川一丁目１番１号　住友不動産大崎ガーデンタワー　株式会社セガ内